

# 武田 雅司 議員



## (二問一答方式)

- ①国の借金と財政健全化計画
- ②地方創生の進捗状況
- ③今年10月から始まるマイナンバー制度
- ④高齢者移住
- ⑤全国体力テスト（全国体力・運動能力・運動習慣等調査）と全国学力テスト（全国学力・学習状況調査）

## 地方創生の進捗状況について

**問** 地方版総合戦略の策定に向け、地方創生の推進組織を整備した自治体のうち、産官学労

言（産業界・行政機関・教育機関・金融機関・労働団体・メディア）の全てが参画しているのは都道府県で74%、市区町で38%だったとある。幅広い市民の参加を得て、今後の大洲市にあった地方創生を考えるべきと思うが、本市における地方版総合戦略の進捗状況はどうなっているのか。

**答** 本市においては、大洲市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議と大洲市総合計画審議会について、同じ方に御就任をいただき、合同開催を基本として進めていくことにしています。委員の構成は、産官学金労言の関係者は全て参画をいただいております。さらに自治会長や公募による委員、PTAや保育所、福祉関係者、そして市議会からも参画いただき、幅広く御意見等を伺えるものと考えています。今後市民アンケートを実施することとしていますので、さらに多くの市民の皆様の見解等をお伺いしながら、今年11月ごろには人口ビジョンを含めた総合戦略の骨子をお示しし、今年度中に本市の実情を踏まえた実効性のあつた地方版総合戦略を策定していきたいと考えています。

## 高齢者移住について

**問** 本市においては、市町村合併以降、少子・高齢化、人口減少が続くなど、人口減少や地域経済縮小などの克服、活力があるまちづくりを行う必要があるかと思うが、人口減少に歯どめをかけるためには、元気な高齢者に本市に移住していただけるような取り組みをするべきではないか。

**答** 本市の人口減少に歯どめをかけるための元気な高齢者の移住は、取り組みの一方方法ではあると考えますが、移住した後に本市において介護認定を受けることとなった場合、現在の制度では当市の介護保険被保険者として対応することとなるため、本市の費用負担が増加することとなりますので、今後の介護保険制度の動向を注視しながら検討していきたいと考えています。

## 全国体力テストと全国学力テストについて

**問** 全国体力テスト、正式名称全国体力・運動能力・運動習慣等調査といいますが、文部科学省は2008年度から8種目の実技

調査と質問紙調査を毎年実施している。今回学力テストと同時に行われた学校への調査によると、児童・生徒がみずから課題を見つけ、解決するアクティブラーニングと呼ばれる学習方法をよく行った学校ほど、正答率が高い傾向が全教科で見られているようである。この学習方法の導入は検討されているのか。

**答** 学習指導要領の改定のたびに児童・生徒が主体的に活動することを通して、学び考える指導を充実させてきました。今回のアクティブラーニングは、その延長線上にあるものでこの理念のもと市内の全ての小・中学校において、日々の授業は実践されているところではありますが、本市の学力・学習状況調査の結果を見る限り、まだまだ改善の余地が大きく、アクティブラーニングをしっかりと意識した学習になるよう、指導や助言を継続していきます。

